

さばかんつうしん

さんばんげかいんきょうがくしゅうかん



ふなばし三番瀬環境学習館、ふなばし三番瀬海浜公園から、毎月情報やメッセージをたくさん掲載している「さばかん通信」。ぜひご利用ください。

今月のテーマ 春の訪れを見つけよう

寒い冬が去り、暖かくにぎやかな季節がやってきますね。生きものたちにも、このときを待っていたかのように徐々に活動を始めるものがあります。お散歩がてら、春の生きものの姿を探してみましょう。

記事を書いた人 アテンダント 宮腰



昆虫などの自然な姿を撮るのが好きですが、望遠の良いカメラは持っていません。おかげで被写体の生きものにこっそり近づくと、身に着けつづります。

家の周りや公園で

冬の間は枯れ葉でなんだか茶色っぽく動きの少なかつた場所も、様変わりしてきていませんか？ 地面にへばりつくように葉を広げていたり、葉を落としたりして冬を乗り切った植物は、春になると新しい茎や葉を伸ばし、花を咲かせていきます。

すると、待ってましたとばかりに昆虫が花や葉、そこに集まる他の昆虫などを求めて集まってきました。チョウやテントウムシなどおなじみの昆虫たちも、もうそろそろ活動を始めるのです。



ハマダイコン



シロツメクサとモンシロチョウ

ふなばし三番瀬海浜公園では、ハマダイコンやシロツメクサが花を咲かせ始め、公園を彩っていきます。また、そんな中をモンシロチョウが飛び回り、花にとまっては蜜を吸います。特にハマダイコンの葉はモンシロチョウの幼虫のエサにもなるので無くてはならない植物です。植物があるところには他の生きものもあり。ぜひ気にしてみてください。

三番瀬の海で

冬の三番瀬干潟にはたくさんの渡り鳥がやってきていますが、暖かくなると水の中にも小さな生きものがやってきているのがみつかると



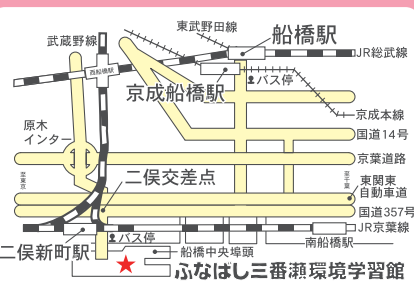
5cmに満たないミズクラゲ 気づきにくいところにも春を発見



イシガレイの稚魚

しょう。水中を漂う半透明な塊は、冬にエフィラという姿になり、そこから成長した小さなミズクラゲです。砂底に潜みつつひそかに動き回るのは、冬に生まれたイシガレイやマコガレイの稚魚です。どちらも春にしか見られないミニチュアサイズ！ 遊びに来たら、ぜひ水の中ものぞいてみてくださいね。

3月20日(木・祝)から、春の特別展「三番瀬生きものクイズラリー」が始まります。環境学習館や海浜公園を歩き回ってクイズを解きながら、生きものをたくさん見つけて、面白い発見をしてください！(宮腰)



ふなばし三番瀬環境学習館
[開館時間] 9:00~17:00 [休館日] 3月は月・火曜日 (3/20~4/6は春休みのため無休) [アクセス] 電車・バス: JR船橋駅・京成船橋駅、JR二俣新町駅から京成バスシステム「船橋海浜公園」行終点下車/車: 国道357号 二俣交差点を「船橋中央ふ頭」方面へ(駐車料金普通車:500円) [お問い合わせ] 〒273-0016 千葉県船橋市 潮見町40 メール: pr@sambanze.jp 電話:047-435-7711 FAX:047-435-7712 公式ホームページ: https://www.sambanze.jp/

野鳥インフォメーション

下に曲がった長いくちばしが特徴の、大型のシギです。三番瀬では秋から春に少数が見られることがあります。2月には潮が大きい引いた干潟の波打ち際でエサをとる姿が観察されました。(大口)

ダイシャクシギ